

生鮮市場マルコーバリューによる自立した移動スーパー事業の取組 ～地域住民との積極的なコミュニケーションによって培われる事業拡大～

- 1950年代、創業の地域商店から事業を拡大し、2013年に移動スーパー事業に参入。7台の移動販売車「いと丸くん」を運行。
- 長年の地域住民や自治会との丁寧な意見交換により、採算性を維持した移動スーパー事業を実現。

基本情報

【福岡県糸島市】

- ・人口 98,877人
 - ・世帯数 37,792世帯
 - ・高齢者人口 29,678人 (30.0%)
- ※令和2年国勢調査より引用



背景ときっかけ

- 1950年代、幸田商店（地域商店）を創業し、醤油の店舗販売および配達を行う。その後、店舗の規模を徐々に拡大し、1970年代に食料品スーパーへ事業展開。
- 2013年、新規販路の開拓や地域の独居高齢者等の見守り活動のお手伝いができるといった理由から、移動スーパー事業に参入。

問合せ先

株式会社マルコー 生鮮市場マルコーバリュー
住所：福岡県糸島市波多江駅北4丁目4番1号 電話：092-322-2628

事業内容

- 1商品あたり店舗での定価に40円を上乗せして販売。地域の集会所にて地域住民に対して社長自らが値上げに至った背景や移動販売の事業継続の困難さを丁寧に説明し、住民に理解してもらうように努めてきた。
- 車両2台目以降は補助金に頼らずに導入に至る。
- 利用者のニーズを把握するために、年に1回、利用者アンケートを実施。

取組上の工夫

- 2024年6月時点で、糸島市内および福岡市の一部にて7台の移動販売車を運行（各地域週2回の巡回）。
- 1週間程度、見かけない利用者がいた場合は、自宅まで訪問し、声掛けをしている。



【移動スーパー いと丸くん】